

和やかに定期総会 東海支部催



第25号 昭和61年9月30日発行 三翠化学会 津市上浜町1515...

昭和61年度三翠化学会定期総会 並びに東海支部定期総会開催

昭和六十一年度三翠化学会定期総会が去る九月十三日(日)に名古屋国鉄駅前サンルートホテルにおいて開催されました。

この総会に先がけて、東海支部の総会が午前十時から開催されました。東海支部総会は、事業報告の後、役員改選となり、毛利副会長を仮議長として議事進行がなされ、会員より、会長留任の動議が出され、決議の結果、会長留任となりました。



三翠化学会総会



昭和六十一年度三翠化学会定期総会に移り、嶋田副会長の開会の辞に始まり、会長挨拶ののち、渡辺会長から入場をのびせせるようなエノモラスな挨拶の後、議長に福田映氏(大)を選出し、

基金運用の範囲拡大す 活性化の一助として

基金運用については会員各位よりしばしばご意見がございました。また、役員・評議員会においても同様に話題にのぼって



田、豊臣、徳川の三大英傑による名古屋市の成り立ち、戦後の田淵助役による名古屋市の改革復興等非常に興味のある講演を聴きました。講演終了後、十二時三十分から同会場にある大ホールに於て、懇親会が立食パーティー形式で行われました。

以下に基金関係の審議に入り、基金運用委員会の高橋委員より、基金の資産運用状況の報告があり、承認可決され、全ての議事が終了しました。

昭和60年度三翠化学会決算報告 (単位:円)

(1)収入の部		(2)支出の部	
項目	決算	項目	決算
前年度繰越	140,199	会報印刷費	350,000
会費	700,000	郵送通信費	230,000
雑収入	10,000	会議費	100,000
合計	850,199	人件費	80,000
		三翠三重農協連携協議会負担金	30,000
		事務費	10,000
		予備費	50,199
		合計	921,697
		差異残高	120,034(次年度繰越)

昭和61年度三翠化学会予算案 (単位:円)

(1)収入の部		(2)支出の部	
項目	61年度	項目	61年度
前年度繰越	120,034	会報印刷費	350,000
会費	800,000	郵送通信費	230,000
雑収入	9,966	会議費	130,000
合計	930,000	人件費	80,000
		三翠三重農協連携協議会負担金	30,000
		事務費	10,000
		予備費	100,000
		合計	850,199

三翠化学会基金決算報告 (S 61.4.13)

収入の部 (単位:円)	支出の部 (単位:円)		
前年度繰越	2,254,160	支部補助金	80,000
国債利息	30,480	卒業生記念品費	65,600
定期郵便貯金利息	5,550	こうより補助金	30,000
国債償還差額	3,384	雑費	1,020
合計	2,293,574	合計	176,620
差異残高	2,116,954(次年度に繰越)		
基金管理内容	定期郵便貯金(20万円×7口)	1,400,000	
	国債(40万円×1口・20万円×1口)	597,340	
	郵便貯金	119,614	
	合計	2,116,954	

今年度の定期総会は本紙第一面記事のように東海支部のお世話で名古屋で開催されました。私達の三翠化学会は、会則で「会員相互の親睦向上と母校の隆昌をはかることを目的とし、そのための「会員相互の連携と情報交換に関する事業」を行うことがうたわれています。そして、毎年一回定期総会を開催し、この総会の場で、隔年ごとに任期二年の役員を選出することになっております。

松島嶋一先生の定年退官を記念して

二年前に心筋梗塞にかかられましたが、その後の御進歩の甲斐あって、今ではスリムな体型で以前より身軽に動き回っております。先生のこの度の「退官に際し、先生のご功績をたたえ、永年のご厚意とご指導に報いるため、記念事業を計画致しますので、皆様方の協力を賜りますようお願い申し上げます。

農林水産省野菜試験場

西條 了康 (大8)

野菜試験場は三重県安芸郡安濃町に本場を持つ野菜・花きの試験研究機関である。わが国の国立機関による野菜・花き部門の試験研究の歴史をふり返ってみると、明治三十五年に農事試験場園芸部が静岡県興津町に設置されたことに始まる。同部は大正十年園芸試験場として独立したが、昭和二十二年には神奈川県平塚市に本場を移転した。昭和三十六年園芸試験場が設立され本場・平塚、興津と二支場(若手県盛岡市、福岡県久留米市)となった。

農林水産省と併合して、昭和四十八年一月野菜試験場が設立された。本場には三重県安芸郡安濃町に企画連絡室、総務部、育種部、栽培部、環境部のなかに十八研究室と愛知県知多郡武豊町に施設栽培部の七研究室がある。盛岡支場は四研究室、久留米支場は六研究室の体制がとられている。土地は建物、ほ場、山林、原野等を合わせて安濃二十四町、武豊一〇・四町、盛岡一〇・八町、久留米十一・四町である。予算は昭和五十九年度で十六・三億(うち人件費一〇・五億)である。

- (一) 野菜の育種 作型適応性、機械栽培適応性の生育種。病虫害抵抗性育種。食味、成分等の品質育種。流通加工適性育種。また内外の遺伝資源の導入。組織培養、細胞融合、細胞融合等のバイオテクノロジーの開発。ウリ科、ナス科、アブラナ科、セリ科、アカザ科、キク科等の野菜について上記の研究開発を行う。(二) 野菜の高位生産技術の開発 野菜の良質、安定、多収技術の確立のために光合成産物の転流、蓄積機構の解明。無機養分代謝、水分代謝、生長、休眠、老化、抽だい、花成、結実、発芽等の生理、生育、生理的解明。個体及び個体群の生態反応の解明。収穫期予測技術の開発。施設野菜の合理的栽培技術、施設資材の適正利用法。(三) 野菜・花きの生産安定化技術の開発 病虫害の発生予測技術。生物的的手法による制御技術の開発。土壌生産力の維持向上のための土壌の理化学的、物理性の改良技術。肥料成分と体内養分の関係解明。凍害、冷害、高温害、乾燥害、湿害等の気象災害の発生機構の解明。(四) 高品質野菜・花きの生産流通技術の開発 野菜のブレンド(ベスト)条件(収穫前の生産条件と流通適性、加工適性、栄養価、嗜好性の関係解明。ポストハーベスト生理学(収穫後生理学。各種流通条件下における品質保持技術。品質評価法の確立。(五) 花きの育種と高位生産技術の開発 花き・緑化樹の高品質、高位生産、周年生産を目指す育種。生育、開花生理の解明。品質構成要素、観賞価値構成要素の解明。遺伝資源の収集保存。バイオテクノロジーによる新育種法。

職場めぐり

三重県農業技術センター 広瀬和久 (大20)

当センターの本場は、一志郡嬉野町の近鉄中川駅、東約一・五kmにあります。昭和四十五年産試験場、畜産試験場、畜産試験場、畜産試験場に農業改良普及機関を統合し、さらに農業経営大学校を併設して試験研究、普及

事業、教育事業の三者の連携を計る目的で発足しました。六十年四月に、普及機関が県庁に移り普及課となり、農業経営大学校が農業大学校に改称され、また病害虫防除所も新設されました。そこで現在の組織は七部、四地域センター、二併設機関となり、総職員は二百十名、このうち研究職は約三分の一の七十六名です。

省力、多収、良質化に関する研究や品種選定により、奨励品種の優良原種を栽培管理し生産配布を行なっています。園芸部は、果樹(ミカン、ナシ、カキ等)、野菜(イチゴ、トマト等)、花き(シクラメン、シンビジウム等)の品種・系統選抜や栽培改良および品質保持、加工法等の開発研究を行なっています。環境部では、農作物病害虫の発生生態や防除の研究、および農薬残留、土壌保全、土壌肥料、環境保全等に関する調査研究が行なわれています。畜産部は、桑樹の栽培管理と蚕の飼育について、生産技術の向上と普及を図るための試験や普及指導、繭の検定等に関する調査研究を行なっています。畜産部は、約3km離れた同じ嬉野町内にあり、本場より広い敷地では酪農、肉牛、養豚、養鶏、飼料等の研究が行なわれている。防風、防砂対策。

われ、バイオテクノロジーを利用した研究も進められています。また休日には、最近都会では見られなくなった家畜を見学する、家族連れの方もあります。続いて地域センターですが、茶業センターは、亀山市に本場(分場は大台町)があり良質茶生産を目指して、品種改良や製茶加工、新製品の開発等の研究を行なっています。伊賀農業センターは、上野市にあり伊賀地域の農業振興と稲、麦、大豆の優良原種生産およびブドウに関する試験研究を行なっています。紀南かんきつセンターは、熊野灘沿岸の御浜町に位置し、温暖な気象条件のもと温州ミカンや中晩生かんきつ等の栽培、貯蔵管理技術に関する試験研究を行なっています。木曾岬干拓試験地は、干拓地の営農を確立するために、

良土壌での作物栽培試験を行なっています。また併設されている二機関のうち農業大学校は、農業後継者の育成と地域農業の発展に寄与する人材を育成するための二年制の教育施設であり、先進農家への留學研修を実施し、理論と実習を組合せた全寮制の教育を行なっています。六十二年四月に、県下七ヶ所の防除所を統合して新設された病害虫防除所では、農作物の病害虫の発生動向調査や病害虫発生予防情報の提供を行ない、防除指導や農薬安全使用等の植物防疫行政の総合的な推進が行なわれています。さて当センターの三翠会員ですが、全体では三十九名と多く研究職員の約半数を占めています。片岡センター所長を始め大半が農学科出身であり、化学会員は六名にすぎません。まず

思い出と近況

赤木盛郎

一月後に始めて社会人となつてから早や四十年、三重大学農学部の前身、三重農林専門学校農産製造科に赴任してから三十七年の年月が流れました。十年昔といいますが、四十年も過ぎてしまえば早いもの、光陰矢の如しを身をもって感じている今日このごろです。この三十七年間に自分は一体何を学び、何を覚えてきたのだろうかと思ふと、数冊に及ぶマ帳には、本学に赴任した昭和二十四年から今日までの、出席状況や評価などが記載されている。何年卒のA君は一度合格しているが不十分と判定され、B君は成績のよいハッキリした学生であるとか、C君は何回も追試をうけているが大変人の面倒見のよい学生であるとか、D君は出席のわりには成績がよかったとかなど……。その時代の時代の様子の当り懐かしさや浮かんできます。社会人として立派に活躍されているのを聞き、嬉しきにつけ、一千年をこえる卒業生諸君を送り出した幸福感、満足感にひたつて

りいろいろの講義や実験実習を担当し、広く学び研究・体験させていたことを感謝している。春(こ)に生まる朝の日をうけて山河草木みな光あり 佐々木信綱

### 特許最前線より...

星野浩一 (特許庁)

皆さんお元気ですか？ 早いもので卒業してから六ヶ月が過ぎてしまいました。現在、私は埼玉県の川口市という所に住んでいます。川口市は東京まで電車で僅か三十分で行けるため、東京のベッドタウンとなっており市内のあちこちにマンションやアパートが建っています。

私はこの川口市から電車で約五十分の所にある霞が関の通産省に勤務し、工業所有権に関する仕事に従事しています。六時半起床。七時半電車に乗り込み、八時半登庁。そしてコンピュータの電源を入れ... こうして私の一日が始ります。電車の中はいつも満員で、買ったばかりのスーツをもみくちゃ

にされる毎日です。でも時々席に座ることが出来るのですが、これが曲者で何せ朝が早い。ためついウトウトと寝てしまいが、この法律で何せ朝が早い。特許を得ることが出来るわけですから、つまり特許法で保護されるか否かが会社の運命を左右するわけ、会社の経営戦略の基礎となります。

レベルの問題となつてい日本は世界から特許王国と言われており、世界の特許出願件数の約四〇%を占め、毎日世界中の情報が洪水のように押し寄せて来ます。そのためコンピュータによる情報管理を行うべし昭和六十四年に官庁初の地上十七階地下三階のコンピュータ専用ビルが建てられることになりました。そして一人に一台の端末が与えられ役所からはペーパー類が消え全ての仕事はコンピュータを介して行なわれるようになり

た。また、国会待機というものがあつておぼつかた後悔しいです。私はこの法律運用の中で審査業務に従事しています。これは特許で保護するか否かの判断を下すもので非常に責任のある仕事です。しかもこの最終判断は一人で下さなければならず自分の書いた書類は公文書となり、裁判時には被告席に立つことになり、初めは文書を書いたときは汗がビシビシになり

# 社会人一年生

農薬製造、販売の専門メーカーである。しかし、その園芸店に行っても製品は売っていない。何故なら農協を通してしか販売してないからである。さも知った様に書いてあるが、当の本人も去年の五月迄は名前も知らなかったのである。入社して既に五ヶ月になろうとしているが、少し振り返って見ようと思ふ。入社してすぐは研修で、社会人としてのマナー、特に言葉使用に関する特訓、禅寺での座禅、そして三泊四日の自衛隊体験入隊があった。自衛隊では地図判読で射撃訓練場に入ったところ何十台もの戦車に囲まれ肝を冷やしたことが印象に残っている。その後工場及び営業実習を終え、現在は生科研の残留研究室に属している。ここではppmはもろろん、ppb、pptレベルでの農薬の挙動について調べている。もろろん学生時代は、こんな微量レベルの実

## 後輩のみなさんへ、おじんの一言

安徳高志 (ポッカコーポレーション)

今年の春、大学を卒業してから既に五ヶ月あまりたち、夏ももう終りに近づいています。私の会社では、入社後三ヶ月間は研修期間ですが、特別に四月は、営業、技術系を問わず、同期入社男子全員で合宿をし、寺での研修に始まり、会社

## 社会人一年生となって

古瀬伸二 (大関 K.K.)

長かったようで短かった学生生活が終わってあつた。五ヶ月が過ぎてしまいました。実感しております。社会人となって一番変化したのは、やはり時間の使い方です。会社へは電車を利用して

の者としては、これからは味わうことのできないだろうと思われ、五月に入ってから全員の研修を兼ねて、七月下旬になると制服姿を見かけなくなり、「ああ、学生はもう夏休みか、そういえば昨年の今頃は全日本での上位入賞を目指し、ヨット部の練習に燃えていたっけ...」

## 三翠化学会三重支部 大杉谷林間 キャンプ大会報告



八月九日、宮川村大杉谷林間キャンプ場に、渡辺会長はじめ支部会員及び東海支部の鈴木康平氏夫妻の御参加を含め、総勢四十一名が集合。

夕六時より、高橋孝雄先生の音頭で乾杯し、和牛特選牛肉を

メインにパーベキュー大会を開始。今井滋氏の万端準備もあつて、焼肉のほかカレーライス、素麺など多彩の食べ物に一同満腹。

翌十日、みそ汁付きの本格的朝食を終え、観光船にて宮川ダムの第三乗船場で降船、約二軒歩いて第三発電所下の深川原に集合。魚釣りを開始したが、形

## 会費納入のお願い

三翠化学会の主な活動(年一回の機関紙発行、総会、年四回の役員、評議員会等)は皆様方の会費に支えられています。本年もどうかよろしくお願い致します。昭和六十一年度会計担当幹事 振替用紙を同封しますので、御

収入会費	一七八、〇〇〇円
寄付金	二四、〇〇〇円
計	二〇二、〇〇〇円
支出	六四、〇〇〇円
遊覧船代	一三、五〇〇円
原材料購入費	七八、八七四円
飲物同	二〇、六〇〇円
通信費	二二、二〇〇円
計	一九九、一七四円

専一 佐々木敏雄 記

# 「ソウルの涙」

中村宣博 (専3)

お盆前あまり上手とも言えない尾ノ内君にエブリワンをもらって近くのコースを廻りました。この頃になりまして、OBの行方にも栗の穂が目立って大きくなっています。

毎年このころが九月に入りまして西日本の缶詰工場のおちこちで栗の加工が始まります。愛媛の他、茨城・熊本の各県が大産地で、ヨーロッパや中国

もう十年程もなりましたが、京都の林業試験場の先生のお伴でソウルの杵さんと言う方の経営される広大な栗園を拝見したのが私の訪韓のはじめです。その杵さんとは、今も家族ぐるみの交流がありますがこの方は、北朝鮮の出身の方です。

故郷にお母さんと四人の姉弟を残して、当時中学生の弟さんと二人動乱の三十八度線を着るまで突撃してソウルに辿りつき、励ましあひながら自分陸軍士官学校を卒業され米国の陸士にも留学され、プロの軍人として立派に勤めを果たされ、私がお目にかかったときは退役直後のころでした。

お互いに行き来を繰り返して何年か経ったある日のこと、突然あらたまった様子で「お願い」があると言いだされました。どう考えても自分達より日本人の方が早く北朝鮮に行けるようになるだろう。その時には是非自分の故郷に行ってお母さん達の安否を尋ねて来てほしい。又自分達の元氣な様子を伝えて下さらないかと言うことなのです。職業軍人として鬼をもひしぐような偉丈夫の目から溢れる涙を拭いてもせずに訴えられました。

職業を通じてこのように立派な友とめぐり逢えたことを大変幸せに思っています。

最近出張も少なく、昨年十一月以来の訪韓はこの月末を予定していますが、今回ソウルに行けないのが残念であります。

人が戦後、欧米各企業から技術導入して製品をつくってきた時代の品質意識とは異なるようだ。市場重視と品質適合性への相互理解にまだすき間がある。

お互いに、ありのままを見ること、お互いの欠点を否定せず、根気よくつきあいを重ねることが、「理解」を確実にしていくのだから。

「日中友好への思いをこめて」

# 今、私は……

## 隣国との取引を通じて (その1)

旅人と我名よばれん  
初しぐれ 芭蕉

と吟じるような旅をしたいものです。が、私の場合は業務訪問の中から、つまみだした旅の回想の一部です。

三月二十二日 長春(旧新京) 北京より瀋陽(旧奉天)で乗りつけて、午後、長春空港に降り

る。河は氷り寒さ一段と厳しい。日本の春とはほど遠い。

出迎えてくれた王、成岡女史の案内でホテルに向う。初めての東北(旧満州)であり、車窓よりカメラを向ける。しかし、街並の建物に異様な感あり。見慣れていた今までの中国とは違っていた。日本の城名古屋市役所から、国会議事堂など日本の建造物にそっくりなものがいくつもあり、シャッターを押すのをはばから

かつての日本帝国と中国人と満州開拓民の間を思う。

九月十六日 上海(世界最大の人口をもつ都市) 平和飯店前の船着場は、今日も人々であふれている。河面を過ぎてくる風がこちよい良い。貿易会社の揚子と工場場の劉氏等と懇談。あと一歩で話がずれる。なかなかまと

か経ったある日のこと、突然あらたまった様子で「お願い」があると言いだされました。どう考えても自分達より日本人の方が早く北朝鮮に行けるようになるだろう。その時には是非自分の故郷に行ってお母さん達の安否を尋ねて来てほしい。又自分達の元氣な様子を伝えて下さらないかと言うことなのです。職業軍人として鬼をもひしぐような偉丈夫の目から溢れる涙を拭いてもせずに訴えられました。

行けるものなら彼の故郷を訪れ、立派なお母さんにお目にかかりたい。どうか達者でいて下さい。と祈らずにはおられません。

職業を通じてこのように立派な友とめぐり逢えたことを大変幸せに思っています。

最近出張も少なく、昨年十一月以来の訪韓はこの月末を予定していますが、今回ソウルに行けないのが残念であります。

人が戦後、欧米各企業から技術導入して製品をつくってきた時代の品質意識とは異なるようだ。市場重視と品質適合性への相互理解にまだすき間がある。

お互いに、ありのままを見ること、お互いの欠点を否定せず、根気よくつきあいを重ねることが、「理解」を確実にしていくのだから。

「日中友好への思いをこめて」

# 知多、日間賀島で 大4クラス会



昭和三十二年に学園をあとにして社会へ出た私達のクラス会は、今年で、卒業三十周年を迎える。そこで善は急げとクラス会を計画して、海のシーズンに入る前の五月を選び、早速、知多半島先端の海を隔てた日間賀島で宿を予約し、クラスの人達に呼びかけた。ところが、五十路をすぎた私達は公私共に事が多く、娘の結婚、仲人、法事、会社研修の講師と行事、親と本人の病氣等々、海外在住の三人を含む三十一人のクラス中十二人の出席にとどまった。やむを得ず、今回はクラス会の前哨戦のつもりで、距離的なこともあり恩師の先生のご足労を煩わさず、五月十七日にこの十二人が集まった。

当日は、遠方から駆けつけた細見、古川、村上の三君と名古屋近辺の梅田、齋藤、渋谷、田井中、花山、原田、藪本の七名が名鉄名古屋駅で集合し、河和までは電車の旅、次に渡る海上は、皆の心掛がよかつたか、心配した天気も晴朗、風いど海を飛ばすように走る高速艇も又快適であった。蒲郡から別ルートで先着していた林(成)、沢田(守)両君を迎えられて宿入り、一と近況報告とクラス会員の情報交換で話の花が咲いた。

入浴後、ご馳走を前にして記念撮影し、最速の地から出席し、きき酒よろしく飲み比べたいに会を盛り上げる事が出来た。重ねてお礼申し上げます。

宴会には紅一点の青木さんが今年名工大に入学されたお嬢さんとともに花を添えてくれました。一同、大いに飲み語り合うちに、三時間余りの大宴会もまたたくうちに過ぎ去り、そのまま旅館内の二次会へと雪崩れ込みました。マジヤン、囲碁、更に語り飲むうちに、いつか夜も更けて、ようやく皆が寝静まったのは、二時をまわった頃でした。翌朝はどの顔も目をささぐの様にしつとも皆一様に満足気であった事、幹事一同は、次回は、北浦君の主催で京都方面にて開催の

やがて秋

生き下手のまた風船を買わされる合わせ鏡にそれほど見たくない背中迷いまだあり曇天へと立てる義歯一せん半のめし 鯛が啼き止まぬ

これら焦りか冷房が効いている生きざまも屋根の傾斜も中ぐらい数字整理 せめて我が家のじゃがいもはやがて秋しきりに痒い耳の裏物干竿の影がこちらへ伸びている

巡礼と椅子を秤にかけてみる

(川柳三重・川柳新京都同人)

八月三十日 奥野誠二  
嶋田 協

拝啓 早速御原稿御送り頂き有難うございました。新人賞受賞以来ますます複雑性を増した様ですね。あんな頭の男にマジヤンで勝てる筈がないと友人が述べ懐けていたのを思い出しました。しかし、ネアカな私は失礼ながら、あまりの難しさに大声で笑わせて頂きました。

次の機会には、このクイズの答を奥様からお聞きしたいと思っております。

九月二日 嶋田 協  
奥野誠二様

# 関東の吟醸酒で 宴盛り上がる 大14クラス会

三翠化学会の皆様お変わりございませんか。今日は三翠化学新開の紙面をお借りして去る六月十四日に行いました我が大14回生の二十年目のクラス会の模様をお伝えいたします。今回は参加者の便を考え、ちょうど東京と大阪の中間に当る名古屋の駅近に有る割烹旅館を会場に選び行いましたところ、クラス担任の梅林先生始め総勢二十名

の参加が得られ盛大に行うことが出来ました。ご多忙中、東京出張のお帰りにご参加いただき梅林先生始め、遠路参加いただきました皆様にお礼申し上げます。また、ポッカの玉置君からは新発売のポリフォルニアワインクーラーとビールを二十セツト、都合で参加出来なかつた岡崎君からは関東各地の吟醸酒を二十数本差し入れて

ず、五月十七日にこの十二人が集まった。

当日は、遠方から駆けつけた細見、古川、村上の三君と名古屋近辺の梅田、齋藤、渋谷、田井中、花山、原田、藪本の七名が名鉄名古屋駅で集合し、河和までは電車の旅、次に渡る海上は、皆の心掛がよかつたか、心配した天気も晴朗、風いど海を飛ばすように走る高速艇も又快適であった。蒲郡から別ルートで先着していた林(成)、沢田(守)両君を迎えられて宿入り、一と近況報告とクラス会員の情報交換で話の花が咲いた。

入浴後、ご馳走を前にして記念撮影し、最速の地から出席し、きき酒よろしく飲み比べたいに会を盛り上げる事が出来た。重ねてお礼申し上げます。

宴会には紅一点の青木さんが今年名工大に入学されたお嬢さんとともに花を添えてくれました。一同、大いに飲み語り合うちに、三時間余りの大宴会もまたたくうちに過ぎ去り、そのまま旅館内の二次会へと雪崩れ込みました。マジヤン、囲碁、更に語り飲むうちに、いつか夜も更けて、ようやく皆が寝静まったのは、二時をまわった頃でした。翌朝はどの顔も目をささぐの様にしつとも皆一様に満足気であった事、幹事一同は、次回は、北浦君の主催で京都方面にて開催の

悪く欠席された方も、次回には必ず再会出来ることを期して十時過ぎに散会と致しました。

この紙面をもうすこしお借りして今回来られなかつた方の近況をお伝えします。東洋醸造の岩崎君は、十名の中国人の技術指導の責任者としてとても忙しい毎日。キッコウマンの小林君は三年前に経営企画部に移動、新分野の仕事に頑張っておられます。その他、国税局の岡崎君、藤沢薬品の川北君、森乳の坂野君、津の松林君(旧姓奥野)、川原田さん(旧姓天西)、雪乳の井口君等々皆さんお元気で活躍しておられます。

尚、次回二十五年目は、北浦君の主催で京都方面にて開催の

予定です。ではその日まで皆様のご健康をお祈りして……

名古屋近在の幹事一同 (西元勝也) 記



予定です。ではその日まで皆様のご健康をお祈りして……

名古屋近在の幹事一同 (西元勝也) 記

予定です。ではその日まで皆様のご健康をお祈りして……